早期景気観測調査

【6-7月期調査結果報告書】

令和6年8月 甲府商工会議所

◆調査要領

山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査 として中小企業の明日の経営活動に資する。 1. 調査の目的 :

2. 調査実施機関: 甲府商工会議所

3. 調査実施時期: 令和6年7月16日(火)~7月31日(水)

4. 調査対象 当所会員 115 事業所

5. 調査方法 : ファクシミリによるアンケート方式

6. 有効回答数 : 86 件

7. 有効回答率 : 74.8 %

8. 特記事項 : 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

句こう3ヶ月の先行き業況は、

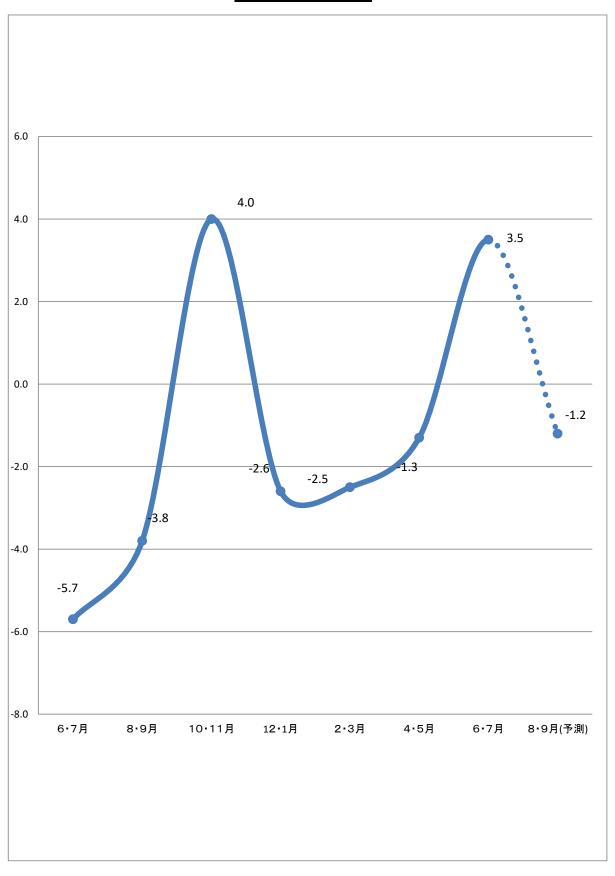
【6-7月期の動き】

全体業況は 3.5 と3期連続の改善。 採算は改善したが仕入単価は上昇 向こう3ヶ月の業況は ▲ 1.2 と悪化する見通し。

6-7月期の全業種総合の業況DIは、3.5(前期比4.8ポイント増)と、3期連続の改善となった。 採算DIは▲7.0(前期比9.5ポイント増)と3期振りの改善し、仕入単価DIは▲81.4(前期比1.7ポイント減)と悪化。仕入単価上昇による物価高による利益圧迫の傾向が見られたが、売上はわずかに増加傾向である。向こう3ヶ月の先行き業況は▲1.2と悪化する見通し。売上と採算が悪化すると予想されている。 業種別は以下の通り。 ●製造業:業況DI 改善 (<u>13.6</u> : 前期比 2.5 ポイントの増加) 悪化: 従業員DI 改善: 売上DI 採算DI 仕入単価DI 不変: 金融貸出しDI 向こう3ヶ月の先行き業況は、 0.0 と悪化する見通し。 ●建設業:業況DI 悪化 (<u>▲ 7.1</u>: 前期比 0.8 ポイントの減少) 改善: 売上DI 採算DI 仕入単価DI 悪化: 従業員DI 不変: 金融貸出しDI 句こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 7.1 と不変の見通し。 ●卸売業:業況DI 悪化 (**▲** 13.3 : 前期比 5.0 ポイントの減少) 改善: 売上DI 採算DI 仕入単価DI 従業員DI 悪化: 金融貸出しDI 不変: なし 句こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 20.0 と悪化する見通し。 ポイントの減少) ●小売業:業況DI 悪化 (**▲** 26.3 : 前期比 7.3 改善: 売上DI 採算DI 従業員DI 悪化: 仕入単価DI 金融貸出UDI 不変: なし 句こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 10.5 と改善する見通し。 ●サービス業:業況DI 改善 (<u>50.0</u> : 前期比 25.0 ポイントの増加) 改善: 売上DI 悪化: 採算DI 仕入単価DI 従業員DI 不変: 金融貸出しDI

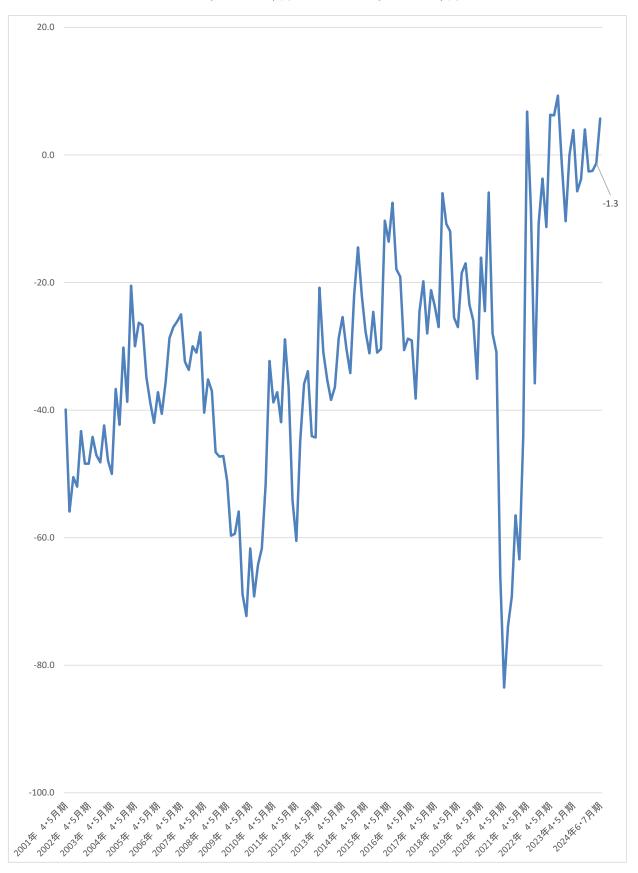
31.3 と悪化する見通し。

業況DIの推移



業況DIの推移

(2001年4.5月期 ~ 2024年6.7月期)

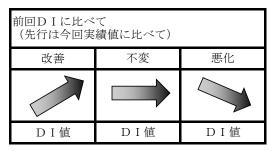


◆全業種·業種別詳細

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、<u>強気・弱気などの景気感の相対的</u>な広がりを意味する。

◆指標の見方



※仕入単価DIは、仕入単価が下落した場合、「✓」(改善)と表示しております。 従業員DIは、従業員が不足している場合、「✓」(改善)と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
3.5	▲ 1.2	10.5	▲ 7.0	▲ 81.4	29.1	1.2

全業種総合の業況DIは、 3.5 (前期比 4.8 ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:改善(0.0 → 10.5) 従業員DI:不変(29.1 → 29.1)

採算DI:改善(▲ 16.5 → ▲ 7.0) 金融貸出UDI:悪化(2.5 → 1.2)

仕入単価DI:悪化 (▲ 79.7 → ▲ 81.4)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 1.2 と悪化する見通し。

◆業種別

○製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
13.6	0.0	9.1	9.1	▲ 86.4	4.5	0.0

製造業の業況DIは、

13.6

(前期比

2.5 ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:改善(

5.6

 \rightarrow 9.1

従業員DI:悪化(

5.6

4.5)

採算DI:改善(**▲ 5.6** → **9.1**)

金融貸出しDI:不変 (

0.0

0.0

仕入単価DI:改善(▲ 88.9 → ▲ 86.4)

向こう3ヶ月の先行き業況は、

0.0

と悪化する見通し。

○建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 7.1	▲ 7.1	▲ 7.1	▲ 28.6	▲ 71.4	42.9	0.0

建設業の業況DIは、

▲ 7.1

(前期比

<u>0.8</u>

ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:改善(▲ 18.8 → ▲ 7.1)

従業員DI:悪化(

50.0

42.9)

採算DI:改善(▲ 31.3 → ▲ 28.6)

金融貸出しDI:不変 (

0.0

0.0

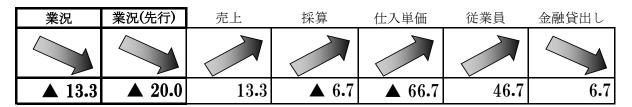
仕入単価DI:改善(▲ 75.0 → ▲ 71.4)

向こう3ヶ月の先行き業況は、

▲ 7.1

と不変の見通し。

○卸売業



卸売業の業況DIは、

▲ 13.3

(前期比

5.0

ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:改善(**0.0**

 $0.0 \qquad \rightarrow \qquad 13.3$

従業員DI:改善(

 $33.3 \quad \rightarrow \quad 46.7$

採算DI:改善(▲ 41.7 →

▲ 6.7

)

金融貸出UDI:悪化(

8.3

6.7

)

仕入単価DI:改善(▲ 83.3 → ▲ 66.7)

向こう3ヶ月の先行き業況は、

▲ 20.0 と悪化する見通し。

○小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 26.3	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 26.3	▲ 78.9	26.3	0.0

小売業の業況DIは、

▲ 26.3

(前期比

7.3

ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:改善(▲ 14.3 → ▲ 5.3)

従業員DI:改善(1

 $19.0 \quad \rightarrow \quad 26.3$

)

採算DI:改善(▲ 28.6 → ▲ 26.3)

金融貸出しDI:悪化(

 $4.8 \qquad \rightarrow \qquad 0.0$

仕入単価DI:悪化(▲ 71.4 → ▲ 78.9)

向こう3ヶ月の先行き業況は、

▲ 10.5 と改善する見通し。

○サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
50.0	31.3	43.8	12.5	▲ 100.0	37.5	0.0

サービス業の業況DIは、

 $\underline{50.0}$

(前期比

25.0

ポイントの増加)となった。

37.5)

●項目別(前期比)

売上DI:改善(41.7 → 43.8) 従業員DI:悪化(50.0 →

採算DI:悪化 (33.3 \rightarrow 12.5) 金融貸出UDI:不変 (0.0 \rightarrow 0.0)

仕入単価DI:悪化 (▲ 83.3 → ▲ 100.0)

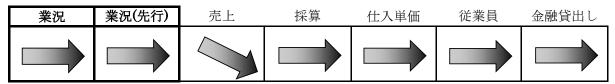
向こう3ヶ月の先行き業況は、 31.3 と悪化する見通し。

◆業種別詳細

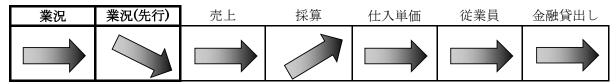
○製造業(食品)



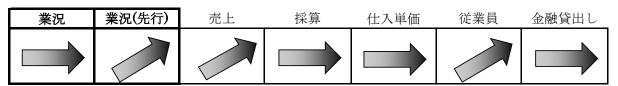
○製造業(工業製品)



○製造業(宝飾)



○建設業(建築)



○建設業(土木)



○建設業(鉄鋼)



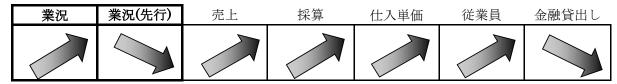
○卸売業(食品)



○卸売業(繊維)



○卸売業(その他)



○小売業(大型店)



○小売業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

○小売業(事務用品)



○小売業(趣味・日用品)



○サービス業(ホテル・旅館)



○サービス業(観光)



○サービス業(飲食その他)



◆中小企業の声(現状や直面している課題 等)

【製造業】

製造業(食品)

・常温品は順調に販売。前倒し納品のおせち商材も好調。一方輸入原材料は上昇の一途である。今後最低賃金大幅上昇も見込まれ不安材料。

製造業(工業)

- ・前回調査に引き続き国内・輸出共に堅調。北米向けの需要に支えられ仕入単価の上昇分を吸収している。 製造業(宝飾)
- ・7月に行ったセールで例年並みの売上。売上は確保できても集客は減少。
- ・金の相場が上昇し新製品の開発・制作が難しくなってきているが、 金相場の上昇は周知の事実なので売上に今のところ影響は見られない

【建設業】

建設業(鉄鋼)

・材料関係は高止まり感あり。

建設業(土木)

・従業員を入れたいが適任者がいない。その為公共工事を受注することができない。

建設業(建築)

・専門工事への就業者が少ない。価格競争による受注額の低価や法規制の厳格化等以前より複雑化している。

【卸売業】

卸売業(その他)

- ・9月以降の仕入単価上昇が予定されており、価格転嫁が必要。
- ・商品の値上げによる顧客の減少が業況の悪化につながっている。
- ・全般的には良好だが、業界内の優劣がはっきりしてきた印象。
- ・ガソリン価格が高止まりしており、販売価格への転嫁が難しい。粗利益率が悪化している。 加えて人材確保も非常に難しい。

【小売業】

小売業(趣味)

- ・商店街のお祭りは例年通りの人出であったが店舗への客入りは少ない。
- ・変わらず業界は厳しい状況が続いている。

小売業(大型店)

・入館者も増加傾向にあり、前年比好調である。

小売業(家電)

•物価上昇

【サービス業】

サービス業(飲食)

- ・仕入の値段が上がりすぎている。また流通量が減少し野菜が手に入らない。
- ・昨年10月頃よりコロナ禍から好転、会社の接待や懇親会が増え客単価が1.5倍に上がった。
- ・売上は好調だが、材料費と人件費の高騰により利益率は落ちている。
- サービス業(観光)
- ・比較的短期間で梅雨明けとなったこともあり、個人客の流動も前年よりは多く動いていた。(インバウンド含む)
- ・運輸の売上が増加傾向にあるも、軽油の値上げ等コスト増大を懸念。
- ・コロナ禍より多少売上は上がったが、経費の上昇により利益は伴っていない。
- サービス業(宿泊)
- ・特別な動きはないが、物価上昇の影響あり